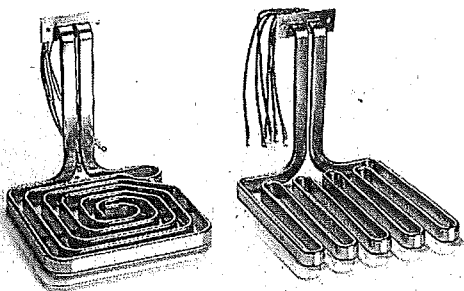


# 厨房機器用、欧州で販売

## ドイツの展示会出展 個人需要も期待

電気ヒーター製造の新熱工業(茨城県ひたちなか市、大谷洋史社長)は海外販売に乗り出す。第一弾として独自開発した厨房(ちゅうぼう)機器用ヒーターの欧州向け販売に向けて、ドイツで開かれる国際展示会に初めて出展する。円高傾向が続くものの、日本国内の市場だけでは成長に限界があると判断、海外で新たな販路を開拓する。三年後をメドに現在はゼロの海外販売比率を一割程度まで高めたい考えだ。

# 電気ヒーター製造の新熱工業



欧州向けの販売を計画する厨房機器用「スーパーフラットヒーター」

三月にドイツのケルンで開催される厨房機器の国際展示会に出展する。揚げ物を作る機器用の「スーパーフラットヒーター」と新製品の過熱蒸気発生器の二種類の商品を出す予定。出展に併せ、英文のカタログやホームページも作成した。展示会では新熱工業のヒーターを採用する厨房機器メーカーや販売代理店を募る。

出展するスーパーフラットヒーターは平形で薄い特殊な形状をしており、狭い空間で大きな発熱面積が取れるといった特徴がある。業務用の調理器具向けなどに利用されているが、「欧州では個人住宅の厨房機器用と

しての需要も見込める」(大谷社長)と期待している。

新熱工業は一般的な工業用から半導体や液晶製造装置用まで幅広い種類のヒーターを製造販売している。二〇〇八年九月初期の売り上げは十億円強と前の期より三割以上伸びた。

しかし、「将来的に国内市場の大きな伸びは見込みにくい」とみており、厨房機器向け以外にも輸出商品を広げるなど海外での売り上げを拡大した

## 海外輸送、一括請け負

物流業務を手がけるユー・ワールド(宇都宮市、小川恒夫社長)は、海外向け輸送を一括で請け負う体制を整える。海外輸送に必要な船荷証券の発行を早ければ今年三月にもできるようにして、輸出に関する様々な手続きを同社で一本化する。

利用業者にとっては現金化が早まり資金繰りの安定化を図れる利点があり、同社は利用業者の増加につなげる。同社は一月、国際物流体制の整備を支援する社団法人日本インターナショナルフレイトフォワードर्स協会(JIFFA)と

## ユー・ワールド 船荷証券発行へ

に入会した。これによりJIFFAが定める船荷証券の約款を使用できるようになった。実際の証券発行には国土交通省の許可が別途必要で、現在、同省に発行許可を申請中だ。すべての手続きが完了すると、今年三月にも同社を一括窓口とする海

外輸送が実現する。船荷証券の発行は栃木県に本社のある運送業者では同社が初。発行が可能になれば、利用業者にとっては、海外輸送に関する業務を簡素化できる。とともに、船荷証券の発行が早まり、資金繰りの安定化を図れる利点がある。小川社長は「港で船会社から船荷証券を発行をアピールし、年間三万件の発行を目指す。

## 2機目の運航開始

千葉県 君津中央病院に配備



千葉県は十九日、君津中央病院(木更津市)に配備した県内二機目の「ドクターヘリ」写真の運航を始めた。同病院を中心とする半径五十キロ圏に十五分以内、七十キロ圏に二十分以内で到着する。日本医科大学千葉北総病院(印旛村)にある一機目との共同運航で、県全域を二十分以内でカバーできるという。ドクターヘリは医師や看護師を乗せて現場に急行し、患者を近くの救急病院に運ぶ。県は二〇〇一年に一機目を千葉北総病院に配備。昨年八月に二機目を君津中央病院に置くこと決めた。同病院から約十五分以内に着く範囲には約四百万人が住んでおり、二機の共同運航で、約六百万人の県民全員を二十分以内でカバーできるよつになる。

い考え。今後は輸送業務用や育成など社内体制もなどに精通した社員の採 整える方針だ。

## 泉ハウジング

# 賃貸マンション拡大

社宅向け 神栖市にまず100戸

月賃1マンション「ミ」 同社は景気悪化の中で、には数億円規模の費用が

百戸はすでに予約済み。今泉社長は「神栖市では社宅用マンションの供給が需要に追いついていない。投資を広げる余地は大きい」と強調する。同社の社宅用マンシヨ



## カレーパン ビニでも販売

山崎製パンは二月から、茨城県の銘柄豚「ロースポーク」のひき肉を入れたカレーパンの写真を掲載し、販売エリアを拡大する。同社は一月から県内の山崎製パン系列のコンビニエンスストアで販売する。同社は「港で船会社から船荷証券を発行をアピールし、年間三万件の発行を目指す。